



トレセンではテンション高めも、馬房の中では大人しいレコルダーレ

小島友実の あの馬の **STORY**



明けおとしのおでかけがてあります。年は元氣が変わらぬ事。時代の変革を実感する事が多くなつたのですが、自分も少しですが、これまでの人生から少しおかしい所を見出されてしまうことがあります。皆様に役に立つものになつた情報をお伝えできればと思つております。本年もよろしくお願ひ致します。

「うう」が、レーハルダーは意外な一面を見せたのむか。

「東京競馬場の出張馬鹿でいわゆる所を見せず、装鞍所での鞍置きも無難」と申されました。ですが、パトックへ行ったのが、ハナコロが高くならないから見ていたい御連絡に歩きこよだし、柴山雄一騎手が跨って

から一歩外に出るとカーハイウェイショービル
ガード(防護壁)」
島山調教師もレッグルダーレの課題として
「この馬を拳げておね」といふ。
「この馬の長所は一貫性で、毎回同じ形で、一生懸命走るといい伸びやかで、かつては
いつも落ち着いて走らしくいたる。精神

況中継」ほか競馬ファンには
を送る。本業のアナウンスの
場を広げている。

レコードダッシュ

リーンファームに所属し、2勝
クリモーカの初仔、レルダー
「預かりせて頂く事が決ま
に行きました。レルダーレ
前位でしたが、小柄ながら
パワフルにまとめており、バ
た良い馬だなと感じましたね
管理する畠山吉宏調教師
初めて見た時の印象をいつ振り
れました。

に行きました。レーハルダーレーが一歳の賣前位でしたけど、小柄ながら馬体が下令バケツにまわらせておべバハングのじねた良い馬だなじましたね」

管理する畠山吉宏調教師はこの馬を初めて見た時の印象をこう振り返つてされました。

て掲示板でしたし、能力を感じました。何より、一連の振舞舞いが思ひこいた事じは思ひこないで、嬉しく評議でした。NLとの戦は11月24日の東京ドーム。
〇〇エール戦に向かって「ルーター」「一度レースを経験した事で、それがこの戦目ばかりでなくこれからも」と調教

初めての子供の場合は成長を慎重に待つ事も多いですが、レーリダーレは育成が順調に進み、2歳の5月末に美浦トーナメントへ入厩。早々にゲート試験は合格したもの、飼葉食いが落ちてきた事もあ

「へ戦日も遅れ着いてしまったね。こ
レ今回ソイユになつた分、良て位置に
立つて先手を取つた。直線では一騎
がのれで先手を取つた。

り、一度放牧へ。9月初旬に再び美浦へ戻り、調整がスタート。昨年10月6日の東京競馬4歳以上戦でトドマサムナードだ。

ね」「勝てるかな」といふ見せ場があつて、新馬戦から間違ひなくレースぶりが上がりつづけました。今後が楽しみになる内容でした

後ひの勝）、レルモダード（もじもじ）も最初は中距離向きの印象を持っていたのですが、でも調教を行つて、前進気勢がでてきましたので、それで一戦目の「デビューラン」（デビューラン、初戦）で勝つ事が出来ました。

二戦田の後は厩舎で調整されて、ついで聞き、馬房へ会つて行きました。普段、レコルターレの調教に乗つて、る菅田健太郎調教助手に、お話を伺いました。

時間はかかりましたが、6歳で引退した年も掲示板に載るなど「シスター」に活躍しました。レーベルマーでも母と同じ成長曲線を描いています。期待して下さい。

(取材:2018年12月5日)